

ニュースレター 「SDGs・ESDをひろげるための“ちば”拠点づくり」

【開催報告】 第3回拠点づくり会議

- 日 時：2022年2月21日(月) 13:30~15:00
- 場 所：オンライン(ZOOM)
- 参加者：26(市民団体、事業者、行政)
- ファシリテーター：石井雅章氏 神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部 教授
- 主 催：NPO法人環境パートナーシップちば

《主なプログラム》

- ・第2回までの会議報告と課題について説明ふりかえり
- ・SDGs ちば拠点+ちば南拠点 HP ドラフト説明
- ・ブレイクアウトルームに分かれて以下のテーマごとに意見交換
 - *Ⅰ テーマ：情報の共有 (SDGs 拠点HP)
拠点ホームページの目的とどんな人が利用するか そのための内容とデザインは？
 - *Ⅱ テーマ：集まれる場
集まれる場のメリットとその活用ができる場とは
 - *Ⅲ テーマ：事業展開 (体験講座セミナー他)
拠点(のメンバー)だからこそできることってなんだろう？ 今年すぐにでもやれそうなことはどれだろう？
- ・全体共有(今後の具体的なアクション)

《まとめ》

まとめ：拠点づくり会議最後の3回目は、SDGs達成ための人づくりの場としての拠点をめざし、県南地域にSDGs南拠点(仮称)づくり会議のこれまでの話し合いを踏まえて行いました。SDGsちば拠点+ちば南拠点HPドラフト説明では、拠点の見える化の一つとして、ホームページ案を事務局から提示しました。パソコンで見る画面、スマホで見る画面の2通りがあります。今後どちらかに決めるか、状況により2通りを活用するか？です。掲載内容は、南拠点会議に参加されている団体などの情報(簡単な紹介と、写真、HPなどリンク先)くらいですので、今後充実していくこととなります。

ブレイクアウトルームはテーマごとに3回展開し、意見交換を行いました。

意見としては、「拠点はオンラインでもリアルでも良い」「拠点HPは、“何かをしたい人、関心がある人”の視点が必要」「単体の事業だけで行うのではなくそれぞれの団体の持つ特徴・特性を生かした連携による開催ができれば新たな付加価値が付き、参加者にとってもメリットが高くなる」等でした。

出された意見やアイデアを、具体化する話し合いが、2022年4月から始まります。それぞれの思いを出し、共有し、実際に動き出すことを始めます。

SDGs南拠点会議 開催します・・・参加者募集！！

(県南地域：市原市から南房総市で活動している団体、事業者他)

日時：2022年4月18日(月) 13:00~15:00

会場：富山岩井コミュニティセンター

内容：SDGs南拠点での具体的な活動決めて、動き出してみよう！

参加対象者：これまでの会議参加者 + 県南地域で活動している団体、事業者、個人

開催：年4回開催予定

問い合わせ先：info@kanpachiba.com 携帯：090-8116-4633

会議呼びかけ団体：SDGs南拠点会議(仮)・NPO法人環境パートナーシップちば

第4回・5回企画運営会議の報告

【第4回企画運営会議報告】12月21日オンラインで開催されました。参加者18名

1. 事業チームからふりかえりと今後に向けてフリートーク（約15分）
 - ・学校との連携事業として、現在あるESDプログラムを、学校、校外活動（一般者応度）向けに編集しては？と提案があった。
 - ・学校との連携は、学校の事情等も検討が必要である。
 - ・2022年度は北拠点づくり事業もスタートするが、南拠点の実行へ向けても支援する。
2. 今後の事業
 - ・ESDプログラム公開体験会 日程：2022年2/27日(日) 会場：南房総市大房岬
講師：神保清司氏（2018年度ESD地域リーダー）
 - ・ESD地域リーダーブラッシュアップ研修会開催：2022年1月29日（土）オンライン
 - ・拠点づくり会議：第3回拠点づくり会議 2022年2月21日（月）13:00~16:00
とみうら元気倶楽部・オンライン
 - ・ちば拠点のHPの検討：試作ページ制作中 → 2月の拠点づくり会議で提案
3. 事務局より
 - ・ニュースレター発行 ・今後の予定（3号：12月 4号：3月）
 - ・企画・運営会議 第5回：1月中旬(来年度の事業計画(案)提案)
第6回：3月中旬(2021年度のまとめ)
 - ・ESD全国フォーラム2021特設サイト」のポスターセッション出展 12/11→ 1月中旬
 - ・エコメッセ双方向企画で開催したユース活動発表会の動画公開中

【第5回企画運営会議報告】 2022年2月22日オンラインで開催されました。参加者18名

1. 事業チーム構成追加 + チームメンバー再構成 各チームはメンバー入れ替え可能として
2022年度継続の方向になりました。
 - ① SDGs ちばユース活動発表会（担当：8名）
 - ② 学校との連携事業（担当：13名）・100年変わらないプログラム ・学校連携を進める情報収集
 - ③ ESDプログラム公開体験会（担当：10名）
 - ④ ESD地域リーダーブラッシュアップ研修会（担当：4名）
 - ⑤ 公開フォーラム・セミナーSDGs・ESD理解促進（担当：5名）
※県北在住のリーダーをお誘い
 - ⑥ 拠点づくり会議（担当：12名） ※県北在住のリーダーをお誘い
 - ⑦ ちば拠点のHPの検討（担当：5名）
 - ⑧ SDGs・ESD実践プログラム（ハンドブック）集（仮）作成 参加者募集！
2. 2022年度北拠点づくり準備
3. 事務局より
 - ・ニュースレター発行 4号：3月予定
 - ・全国学生SDGsフォーラムinちば開催 3月12日（土） 13:30~17:00
オフライン会場：千葉市生涯学習センター小ホール
オフライン（一部登壇者+スタッフ）・オンライン合わせて、参加者49名

ESD プログラムのブラッシュアップ

2018 年度～2020 年度の3年間で行った「SDGs を達成するための ESD 地域リーダー担い手育成事業」の成果として、46 名の地域リーダーが誕生し、3冊の ESD プログラムガイドブックが作られました。

ESD プログラムは、それを実践しながら常により良いものに高めていく必要があります。プログラムがブラッシュアップされると同時に、地域

リーダーも成長していくのです。

そこで、地域リーダーのみなさんに、原則として今年 1 年間に実践したことについて報告を出していただき、その中からブラッシュアップ研修会で発表し、参加者と意見交換することによってお互いにブラッシュアップするという仕組みを作っています。

【ESD プログラム実践報告】

今年、13 名の方から次の 24 件の実践報告がありました。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・牛乳パクリサイクル・温暖化と 1.5℃目標(1) (2)・温暖化と私たちの暮らし・地球温暖化を知る・春のいのちを探しに行こう・二十四節気から学ぶ地球温暖化・いのちの森の日 (2019.4 2010.5 2021.4)・大野台 (2019 2020 2021) | <ul style="list-style-type: none">・親子はじめてハゼ釣り教室 (2018 2019 2020 2021)・田んぼと里山と生物多様性・生ごみリサイクル教室・おや子生き物探検隊 夏・SDGs・ESD ってなんだ・古代米田植えと自然体験と絵を描く・ふろしき教室・オケラとトキ |
|---|--|

【ESD プログラムブラッシュアップ研修会】

1 月 29 日(土) 13 時半～15 時半の 2 時間、「ESD プログラムブラッシュアップ研修会」がオンラインにて開催されました。参加者は 17 名で、その中の 10 名の皆さんにそれぞれ「プログラムの実践報告」を紹介していただくことができました。

質疑応答を含め 1 人当たり 8 分と慌ただしく、「みんなでワイワイ」話してプログラムを深めるところまで至らなかったものの、やってみてどうだったのか、などの生の声を共有することができたのは、大きな収穫だったと思います。

この 2 年間は、なかなかプログラムを実施できない事も多かったと思いますが、そんな中でも活発に活動されている方の生の声は興味深かったです。制限された中だからこそ「体験」が求められているのかなとも思いました。

報告の一つ一つに質疑応答の時間が設けられず、ブラッシュアップというよりは「報告会」で

したが、関東 EPO の島田幸子さんが参加して、コメントしてくださったおかげで、ちょっとだけ「研修会」に近づきました。

ESD プログラムは、実践してこそ生きるものです。また、地域リーダーさんがいろいろな機会に ESD プログラムを実践することにより、リーダーさん自身が成長するとともに、プログラム参加者に SDGs についての理解がひろがっていきます。これからも着実に SDGs 達成をめざして、がんばりましょう。



全国学生 SDGs フォーラム in ちば 開催報告

2030年SDGs達成に向けて全国の学生が集まり、アクションを考えるフォーラムを、学生団体おりがみの協力を得て環境パートナーシップちば主催で、2022年3月12日に、千葉市生涯学習センター+オンラインで開催いたしました。参加者は大学生を中心に、高校生、ユース社会人、おとな（応援者）も参加しての49名でした。

環境パートナーシップちばにとって、ユースを対象とした事業は、SDGs・ESDをひろげるための”ちば”“拠点づくり事業の中で始めていましたが、今回は企画・運営をユースと協力して実施し、若者らしい元気なイベントになりました。

第1部はまず「2020キャンドルナイトリレー実行委員会」の成瀬さん（早稲田大学）から、今回の大きなテーマであるキャンドルナイトリレーについて、全国の学生団体がキャンドルナイトをそれぞれのコンセプトで実施していくうちに自然とSDGsリレーのようになっていった、「みんなでやる意味」「できたこと・できなかったこと」から、キャンドルナイトが社会を担う学生のSDGs達成に近づけるきっかけになる、との説明がありました。

続く全国学生団体の取り組み紹介では、・早稲田大学環境ロドリグス：大島さん／・岐阜大学 Gamet：豊川さん／・Climate Youth Japan：石川さん／・学生団体おりがみ環境チーム：土谷さん／・学生団体 SONE（千葉商科大学）：櫻井さん／・学生団体 CHANGE：前田さん から、それぞれの活動紹介がありました。どの団体もさまざまな切り口



から前向きにSDGsに取り組んでいることがよくわかりました。

学生団体の取り組み紹介の様子は環境パートナーシップちばのHP(<https://kanpachiba.com/>)からYouTubeでご覧いただくことができますので、学生さんたちの力強いプレゼンをぜひお聞きになってください。

SDGs達成のためのアクションづくりは、9つのブレイクアウトルームに分かれて、「SDGsワーク」でアイデアづくりでSDGsについて考えていることを出し合ったあと、「キャンドルナイトワーク」で実際に企画を考えて、9つの多様な企画の発表を聞くことができました。事後のアンケートでも、キャンドルナイトの活動に参加したいと多くの意見をいただいたことから、今後の活動がますます楽しみになりました。

・・2022年度は「SDGs・ESDをひろげるための“ちば”北拠点づくり」始めます・・

SDGs・ESDへの取り組みを多様な主体と協働してさらに広げるために、2022年度は、県北地域（千葉市～野田市）で展開します。事業内容は①～③となります。

団体（境・子育て・まちづくりなど）、事業者、行政、学校等、多様な方のご参加を期待します！

参加者募集は環境パートナーシップちばのHP <https://kanpachiba.com/> 等でお知らせします。

《事業内容》

- ①ひろげる場づくり・・「SDGs・ESDを広げるための“ちば”北拠点づくりの話し合い
- ②「ひろげる人」づくり・・ユース活動支援、学校の連携、SDGs/ESDプログラム体験会他
- ③SDGs・ESD広報活動（セミナー、フォーラム、ニュースター、HP等）

お問合せ：特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば

<https://kanpachiba.com/>

e-mail: info@kanpachiba.com

Tel: 090-8116-4633

